

## ホルモン

# Q&A

〈回答〉

東京大学大学院医学系研究科産婦人科学教授 大須賀 穰

Q<sub>1</sub>

OC/LEPの注意すべき副作用と  
その対策について教えてください。

A<sub>1</sub>

Oral contraceptives(OC)/low dose estrogen and progestin(LEP)\*の副作用には、血栓症、不正出血、吐き気、頭痛、乳房の張り、乳房痛などがある。なかでも血栓症は生命に大きく影響するため特別な注意が必要である。OC/LEPによる静脈血栓症(venous thromboembolism；VTE)発症頻度は3～9人/10,000婦人・年である。これは、産褥期の女性よりはるかに低く、妊婦よりも低いが、OC/LEPを使用していない女性の1～5人/10,000婦人・年よりは高い。また、喫煙女性、高齢女性、肥満女性ではこのリスクはさらに高くなる。図1に示すように、BMI 20未満ではVTEの発症頻度が5.8であるのに対し、BMIの増加とともに発症頻度が増加し、BMI 35以上では発症頻度

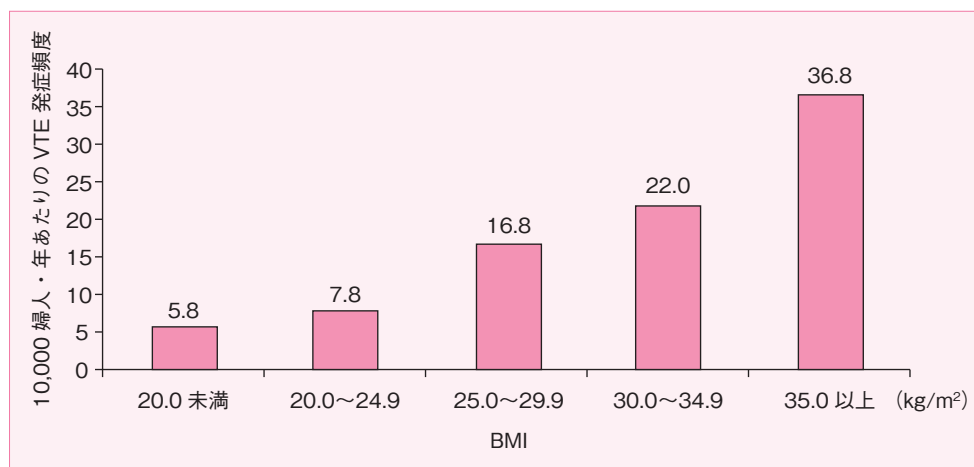


図1 OC使用者におけるVTE危険因子としての肥満度指数(BMI)

(Heinemann K, et al. J Fam Plann Reprod Health Care. 2011；37：132-5. より引用・改変)

\*注：OCは国内外で主な使用方法として避妊に用いられているエストロゲン・プロゲステン配合薬を示す。わが国では、使用目的が避妊ではなく月経困難症の適応をもつ低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬をLEPと呼称している。